

ES CON FIELD HOKKAIDOとHOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE 「野球場を核としたまちづくり」を目指して

株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメント

ES CON FIELD HOKKAIDO の概要

ES CON FIELD HOKKAIDO (エスコンフィールド HOKKAIDO、以下「エスコンフィールド」) は、北海道北広島市に新設される2023年3月開業予定の野球場であり、プロ野球チーム『北海道日本ハムファイターズ』の新しい本拠地となります。株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメント (以下「当社」) が所有・運営いたします。

エスコンフィールドは、選手が怪我を気にせず能力を最大限に発揮できる環境を整えるため、天然芝のフィールドを採用しています。その天然芝の育成に欠かせない太陽光を入れるため、開閉式の屋根や、一面にガラス壁を採用した、日本初の開閉式屋根付きの天然芝球場になります。360度回遊できてフィールドを望めるコンコースの整備やフィールドレベルに限りなく近い座席、様々な席種の配置に加え、世界最大級の大型ビジョンを2台設置するなど、従来の野球観戦を上回る高水準のライブエンターテインメントを提供する施設を目指し、建設を進めています。

<図1: エスコンフィールドパース>



○ ES CON FIELD HOKKAIDO の仕様

【仕様】

開閉式屋根及び天然芝フィールド

【建築面積】

約50,000平米

【延床面積】

約120,000平米

【収容人数】

約35,000人 (座席数: 約30,000席)

【構造】

鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造

【階数】

地下2階 (フィールド)、地上6階 (地上から約70メートル)

【屋根の開閉構造】

1枚屋根スライド式 (2枚屋根、うち1枚固定)

【総工費】

約600億円 (周辺整備費用を含む)

【発注先】

大林組グループ (株式会社大林組、HKS, Inc.) (設計施工一体型発注)

ES CON FIELD HOKKAIDO における エンターテインメント性

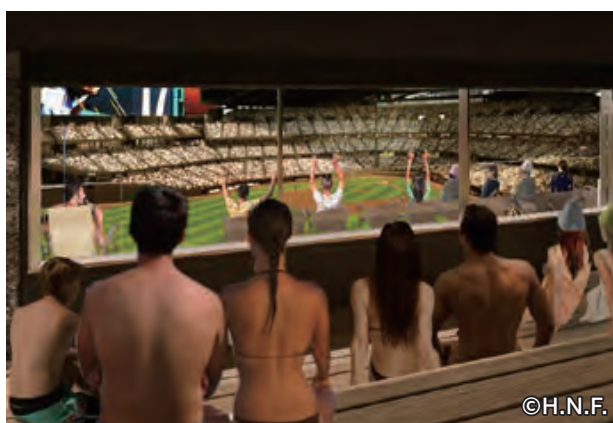
エスコンフィールドは、野球場としての臨場感の向上を目指して施設設計を行いました。観客席からフィールドまでの距離が日本の球場の中では最も短くなります。アメリカ・メジャーリーグの球場と比べても最短クラスとなります。観客席からフィールド内の選手までの距離が近いことで臨場感が従来から向上し、野球観戦の楽しさを提供します。

あわせて演出水準の向上を目指して、横86メートル、

縦16メートルの大型ビジョンを1塁側及び3塁側の各スタンドに2面設置します。大型ビジョンは世界最大級のサイズとなり、最新鋭の設備による映像と音響設備による演出を行うことで、球場全体の盛り上がりを図ります。

その他野球の楽しみ方の多様性を向上させる目的で、従来の野球場には設置されていない施設の整備を進めています。レフトスタンド側に建設する5階層の建物「TOWER 11 (タワー・イレブン)」内には、宿泊施設や温浴施設を整備し、これまでにない観戦方法を提供します。Fビレッジ敷地内では温泉掘削工事が完了しており、世界初の天然温泉を有する野球場として、入浴しながらの野球観戦も可能となります。

<図2,図3:TOWER 11内のサウナ>



一塁側の球場内・外には、幅広い年齢の子供たちが安心・安全に楽しめるよう、株式会社ボーネルンドとの戦略的パートナーシップに基づき、ゾーン別に区分した、ボーネルンド直営店としては国内最大級の「あそび場」エリアも展開します。

<図4:リボビタンキッズ PLAYLOT by ボーネルンド>



HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE の概要

エスコンフィールドを中核とするHOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE (北海道ボールパークFビレッジ、以下「Fビレッジ」) は、敷地面積約32ヘクタールを有し、野球場周辺には、水辺を囲んだ芝生エリアや植栽、ガーデンのほか、当社及び当社以外の事業者によりレジデンスやキッズエリア、農園エリア、商業施設、大型駐車場などを整備しています。当社は広大な敷地を活用して、野球場を中核としたまちづくりを目指しています。

<図5,図6:Fビレッジの敷地内開発イメージ>



Fビレッジの名称は、新球場プロジェクト立ち上げ時から使用している「北海道ボールパーク」という名称に、複数の意味を持つ頭文字「F」、北海道を象徴する「七光星」、まちづくりを表す「Village (ビレッジ)」を加えることで北海道の新たなデスティネーションにしたいという想いを表現しています。アルファベット「F」には「Fighters」の頭文字である「F」の他、「Fan」「Future」「Forest」「Fun」「Fusion」など様々な単語の意味が込められており、事業パートナーやファン・道民の皆様とともに新たな意味や価値を創造します。

HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE のコンセプト

Fビレッジのコンセプトは、①「共同創造空間」の構築及び②「北海道のシンボルとなる空間」の構築、です。①「共同創造空間」の構築については、北海道日本ハムファイターズの企業理念である、スポーツと生活が近くにある社会＝「Sports Community」の実現、とFビレッジのコンセプトに賛同いただける多種多様な自治体・団体・企業・市民・人たちが関わり共同で創り上げる空間とすることを意味します。②「北海道のシンボルとなる空間」の構築については、北海道の価値と魅力を国内外に発信していくことを通じて、Fビレッジが北海道のアイデンティティを象徴し、道民・市民が夢と誇りと愛着を感じられるような空間を創り上げていくことを意味します。この2つのコンセプトを実現するためには、Fビレッジが属する地域において、持続的に成長する“まちづくり”を行っていくことが必要だと考えています。

野球場以外の敷地内における事業開発

Fビレッジのコンセプトを実現するために、Fビレッジの敷地内では、当社及び事業パートナーによる野球場以外の事業開発が予定されています。

Fビレッジ内の事業はプロ野球の試合開催日及びプロ野球興行がない、いわゆる「非試合日」にも営業します。たとえば、エスコンフィールドの南側に隣接して建設される、当社が運営する商業施設「THE LODGE (ザ・

<表1:これまで発表したFビレッジ内の事業開発案件>

事業者名	事業内容
日本エスコン	レジデンス建設
クボタ、北海道大学	農業学習施設
キッズラボグループ	認定こども園
日本エスコン(開発)、光ハイツ・ヴェラス(運営)	シニアレジデンス運営
日本エスコン(開発)、ミライシアホールディング(運営)	メディカルモール運営
藤井ビル	プライベートヴィラ
当社	商業施設「THE LODGE」
スペシャライズド・ジャパン	直営店の出店を含むサイクルスポーツ関連事業
ゴールドウイン	THE NORTHFACE直営店、ワークショップなど
パワー・ステーション	グランピング及びデイキャンプ事業

(記載は当社公表順)

ロッジ)」は、木造2階建てで近隣地域の特産品を販売するアンテナショップや北海道の自然を楽しむアウトドア専門テナント、アメリカ・カルフォルニア州に本社を置くスポーツ自転車ブランド「スペシャライズド」の直営店となる「エクスペリエンスセンター」(アジア初)が入居します。プロ野球の試合日においては、野球観戦に訪れる観客がTHE LODGEにおいて近隣地域の特産品を通じて近隣地域を知るためのきっかけづくりを担います。あわせて、Fビレッジ近郊にはサイクリングに適した豊かな自然環境や各自治体が整備する良好なサイクリングロードがあるため、スペシャライズドによるサイクルスポーツ事業を通じて、エリア一体への周遊の促進や北海道らしい魅力的なサイクリング文化の創出や普及を目指します。

野球興行の有無に関わらない事業展開

Fビレッジでは野球興行開催の有無にかかわらず、365日営業を行う予定です。野球興行がない日でもFビレッジにお客様がお越しいただけるように事業展開を図ります。

上述したFビレッジ内での事業開発案件にあるように、Fビレッジ内では野球とは関係がない事業展開が以下の通り多数予定されております。クボタ及び北海道大学との連携により農業学習施設を2023年に開業予定です。農業学習施設では、農業技術の展示・紹介を通じて次世代の農業を担う人材の育成や青少年の農業

への興味喚起や食育などの教育活動、農業を中心としたコミュニティ創出及び人材交流活動、それらの取り組みより北海道の農業への貢献及びSDGsに関する活動推進につなげたいと考えております。

<図7：農業学習施設イメージ、画像提供：クボタ>



日本エスコンによるレジデンス建設、ならびに光ハイツ・ヴェラスによるシニアレジデンスの運営及びミラシアホールディングによるメディカルモール運営は、Fビレッジ内に居住、療養、学習など様々な場を提供することとなります。Fビレッジには小さなお子さんからご年配の方まであらゆる世代の方々が集まり、エスコンフィールドを拠点とした交流が生まれ、多世代コミュニティが生まれるまちづくりの実現を目指しています。

藤井ビルによるプライベートヴィラの運営は、水辺越しにエスコンフィールドを望みながらサウナを楽しめるヴィラや、愛犬と一緒に快適に過ごす施設・アメニティが充実したヴィラなどを運営する予定です。野球場の横に非日常を味わえる空間を創り、野球観戦の無い日や冬でも365日楽しめる施設を目指しています。

パワー・ステーションによるグランピング・焚火を中心とした体験型アウトドア事業展開は、焚き火スペースや飲食空間が整備された管理棟とエスコンフィールドが一望できて焚き火を囲むことができる宿泊棟を運営予定です。Fビレッジを訪れる様々な方が集い、語りあえる、リビングのような空間を目指します。

Fビレッジ内での展開が予定されている上述の事業については、従来の野球場には隣接していないものと考えております。あわせて、野球場に隣接する必要がない事業かもしれません。Fビレッジが目指すのは、あら

ゆる世代の方々が集い、思い思いの時間をお過ごし頂ける、居心地の良い空間です。プロ野球興行を通じて地域に多数の来場者を迎えることにより、地域にある豊かな自然や地域における様々な取り組みに触れる機会を人々に広く提供できると考えております。それらによって、さらには地域が抱える課題や自然環境への関心を高められる可能性もあると考えています。

地域に必要とされる F ビレッジを目指して

Fビレッジのコンセプトである、「共同創造空間」の構築及び「北海道のシンボルとなる空間」の構築を実現するためには、上述の事業展開を通じて、Fビレッジが地域にとって必要な存在となる必要があると考えています。Fビレッジの開業が単なる野球場の開業にとどまらないように、当社は今後も様々な事業展開を模索して参ります。

Fビレッジが立地する北広島市を含めた当該地域においては様々な課題があると思います。エスコンフィールドの開業を含めて今後のFビレッジ内での事業展開が、地域における様々な課題の解決に向けた何かしらの「きっかけ」につながればありがたい、と考えております。

今後もFビレッジでは様々な事業展開を目指しております。当社事業にご関心を持っていただければ幸いです。